

令和6年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒の実態や社会情勢に合わせたカリキュラムマネジメントの促進 ②「わかりやすい授業」の組織的な展開による基礎学力の定着と主体的で深い学びの実現 	<ul style="list-style-type: none"> ①高卒認定の扱いや3修制希望生徒の増加に対応する仕組みを構築する。 ②ユニバーサルデザイン化されたわかりやすい授業づくりに組織的に取り組む。 ②生徒による授業評価の内容を活用し、授業力の向上に繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①検討を開始して、具現化できるところから進めていく。 ②時間や場の構造化、視覚化やスモールステップ化、ICTの利活用等を積極的に取り入れていく。 ②前期の結果を職員で共有し後期で改善した結果を全員で利活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①妥当なカリキュラムを作成できたか。 ②ICTの活用状況、授業改善の状況等 ②生徒による授業評価の結果の「よい」の割合の変化
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ①社会で生き抜くために必要な力を身につけられる支援の推進 ②外部資源を最大限に活用した組織的な相談体制・支援体制の充実 ③主体的・積極的な活動の支援体制の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ①様々な場面で、自ら課題を発見し、学び、考え、判断し、行動する力を身につけさせる。また、自分の行動・言動に責任が、持てるようにする。 ②支援を見える化し、学校全体で支援する体制を強化する。 ③行事・部活動の活性化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ①サポートドックの結果を支援に反映させる。 ②コミュニケーションを図る機会を多く設定し、通常の生活の中で振り返る。さらに回を重ねることで成長を図る。 ③体育祭・文化祭・球技大会をコロナ前以上のレベルで実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①様々な場面で、「生きる力」を身につけさせられたか。 ②支援に繋がった件数及び生徒の変化をサポートドック等で確認する。 ②サポートドックを活用して年度途中や年度末で心の成長の度合いを調査する。 ③アンケートで生徒の満足度を確認する。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ①社会的・職業的な自立を果たす組織的かつ計画的なキャリア教育の展開 ②必要な資質・能力を身につけ、たくましく社会を生き抜く力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒が、自ら積極的に進路選択を行い、希望する進路の実現を支援する。 ①外国繋がり・多文化生徒の進路支援を強化する。 ②授業をはじめとする様々な場面を通じて、進路意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ①担任・グループ及びSCCがチームとして面談及び説明会を開催する。 ①ガイダンス・サポート体制を充実させる。 ②様々な場面で生徒自身の将来との結びつきを意識させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①ガイダンス・説明会の回数・参加者数と生徒アンケートでの評価 ①進路実績 ②アンケートで生徒の満足度を確認する。 ②各年次との連携が図れていたか。また支援事例や支援のノウハウについて共有できたか。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ①積極的な情報発信と地域との連携による信頼される学校づくりの推進 ②地域を通じた社会と関わる力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ①情報発信の方法を工夫する。特にHP・SNSを使わない情報発信も模索する。 ②地域・社会に貢献する意識を醸成し、生徒の地域と関わる活動を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①地域の掲示板、回覧板を活用して、対地域イベントの開催を告知する。 ①地域に対し、文化祭等の行事の周知を行い、開放された学校にするとともに、学校を知ってもらう機会を増やしていく。 ②地域貢献デーの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ①告知の回数 ①イベントの回数及び来校者数 ②地域・社会貢献の意味を生徒に十分に伝えられたか。 ②地域代表の意見
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ①事故不祥事防止・防犯・防災等の意識を高め、生徒の安心・安全な学校生活を確保 ②組織的な活動による学校としての一体感の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> ①教職員が安心して働ける職場づくりを行い、相互理解から事故・不祥事を防ぐ。 ②職員研修を通じて教員相互の意識向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ①衛生委員会などで環境改善のための方策を確認・実践する。 ②事故防止研修において、協議・意見交換の場を設定し、相互理解から意識向上に結び付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ①職場環境づくりはストレスチェックで評価及び検証を行う。 ②意識調査及び事故・不祥事ゼロの達成度を観点とする。